

関西大学心理臨床研究会ニュースレター

第 12 号 2018. 11. 1

『関西大学臨床心理士会第 12 回総会研修会』報告



2018年5月27日、関西大学臨床心理士会第12回総会研修会が開催された。午前の基調講演では「これからの心理臨床家に求められるもの」というテーマで梨谷竜也先生よりご講演いただいた。今後はアウトリーチや地域連携が一層求められ、高いコミュニケーション能力やコンサルテーション能力が必要となること、AIによる心理療法の可能性が広がっており今後トレーニングへの応用なども期待できる一方で、人間にしかできないことがあるといったお話はどれもが非常に興味深く、心理臨床家としてのあり方を考えさせら

れるものであった。

午後からは「心理臨床における各領域の今とこれからについて」というテーマでシンポジウムが開催され、シンポジストとして医療領域より岡村香織先生、教育領域より大下勝先生、産業領域より榎本正己先生、福祉領域より朝比奈裕先生にご登壇いただいた。現場の最前線でご活躍されている先生方から、心理臨床の現状と今後の展望についてお話しいただき、大変有意義な会となった。今後も会員相互の研鑽をつんでいきたい。

(幹事 若林暁子)

基調講演

「これからの心理臨床家に求められるもの」をお聴きして

大阪医科大学附属病院 精神神経科 川端 康雄

基調講演では、梨谷竜也先生(馬場記念病院)に「これからの心理臨床家に求められるもの」と題して、ご講演いただきました。ご勤務先の統計資料など様々なデータをご教示いただき、今後、求められる役割や業務について理解を深めることができました。

近年では、発達障害や認知症の早期発見・早期支援などで、アセスメントや心理支援の有用性が期待されていますが、これからは、こころの健康づくりや生活習慣病予防など、従来では健康心理学の領域とされてきた分野についても、社会的期待が高まるであろうというお話がありました。このような期待が高まりつつある一方で、批判を受けやすい点についてもいくつかご示唆がありました。なかでも、ケースを抱え込み、情報共有ができないという多職種連携不足を挙げられ、他職種の専門用語を十分に理解していないのみならず、自らの専門性を他職種にうまく説明することができないという問題点をお教えくださいました。これからの心理臨床家は、チームや組織内での連携がととても重要であり、喫緊の課題であることを再認識することができました。また、ご講演では、対話型AIの「Xiaoice (シャオアイス)」や、相手の表情や目線を解析し、それに対応する表情を生成するミラーリング機能を有したAIの「SAYA」についてもお教えいただきました。現在、会話と表情とそれぞれ独立した機能しか有していませんが、それらの機能が統合されるようにな

ると、映画や小説の世界でしか存在しなかったAIカウンセリングが登場する日が到来するかもしれません。ただ、実際のところ、心の問題を扱う心理臨床業務への応用には様々な問題があり、臨床での実用化はまだ難しいということもお教えいただきました。

今回の基調講演は「これから」のみならず、私たちの「いま」の役割や業務を再考するうえでも、たいへん有意義な機会となりました。このたびは、貴重なお話を聴かせていただき、ありがとうございました。紙面をお借りしてあらためてお礼を申し上げます。



講師 梨谷竜也 先生
(馬場記念病院)

シンポジウム

「心理臨床における各領域の今とこれからについて」 報告記

関西大学大学院 岡田弘司

午後からのシンポジウムでは、医療領域から岡村香織先生(藍野花園病院)、教育領域から大下勝先生(大阪府・京都府スクールカウンセラー)、産業領域から榎本正己先生(ジャパンEAPシステ

ムズ)、福祉領域から朝比奈裕先生(るんびに学園)にシンポジストとしてご登壇いただきました。

榎本先生は企業の外部EAP機関にてEAPコンサルタントとしてだけでなく営業や管理職としてご活躍であり、EAPの目的や対応の特徴、法令・行政ならびに企業が求めるもの、持つべき視点などについて大変わかりやすくお話し下さいました。大下先生は長年に渡るスクールカウンセラーのご経験から、子ども・保護者・教員への支援内容、「チーム学校」における協働、法律を踏まえたコンサルテーションの在り方、専門性を保ちつつ現場の状況に応じて柔軟に活動することの重要性を教えて下さいました。岡村先生は精神科での豊富なご経験をもとに心理士としての専門性、「チーム医療」における多職種連携、職員のメンタルヘルス支援、地域啓発活動(認知症予防)の実際についてお話し下さいました。朝比奈先生は、児童心理治療施設における長年のご経験を踏まえ、社会的養護の現状、三本柱の支援(生活支援・心理治療・学校教育)、多職種・関係機関との連携、コンプライアンスとアカウンタビリティ、ケースマネジメントの重要性について教えて下さいました。

シンポジストの先生方を中心としたディスカッションの場では、「バランス感覚」「多職種連携・地域連携」「守秘義務と情報共有」「法律に基づいた支援」「フィールドの拡大(アウトリーチや地域啓発活動)」といった重要なキーワードが浮かび上がり、これからの心理臨床について考える非常に有意義な時間となりました。貴重なシンポジウムの機会を賜り、厚く御礼申し上げます。



シンポジスト 産業領域: 榎本正己 先生
(ジャパン EAP システムズ)



シンポジスト 教育領域: 大下 勝 先生
(大阪府・京都府スクールカウンセラー)



シンポジスト 医療領域: 岡村香織 先生
(藍野花園病院)



シンポジスト 福祉領域: 朝比奈 裕 先生
(るんびに学園)

第 12 回総会研修会に参加して

大阪医科大学附属病院 小児科 橋本 文

2018年5月27日に開催された関西大学臨床心理士会第12回総会研修会において、午前は梨谷竜也先生(馬場記念病院)に「これからの心理臨床家に求められるもの」というテーマでご講演いただきました。公認心理師試験を目前とした今、医療現場を中心に、心理臨床の現状とこれからの展望について大きく5つのテーマに分けてお話いただきました。少子高齢化や自殺・引きこもり者数の増加などの社会問題が深刻化するなか、時代の移り変わりによって、心理職としての在り方も変化していかなければならないことを実感しました。なかでも、「これからの心理療法」として、技術の進歩によって、まるで人間かのごとくことばのやりとりをする人工知能が開発されていることに驚愕すると同時に、私たちが人間でしか持ち得ない「あたたかみ」や「不完全さ」などを大切にしながら心理療法を行うことの重要性を改めて感じることができました。

午後からは、「心理臨床における各領域の今と

これからのについて」というテーマで、榎本正己先生(ジャパンEAPシステムズ)、大下勝先生(大阪府・京都府スクールカウンセラー)、岡村香織先生(藍野花園病院)、朝比奈裕先生(るんびに学園)の各先生方よりお話いただきました。様々な領域でご活躍されている先生方のお話では、実際の臨床現場で求められることは何なのかについて学ぶことができました。いずれの領域においても、他職種との「連携」および「協働」が必要であるということは共通しており、私自身もそれらを意識して日々の業務に努めて参りたいと思いました。また、後半のグループワークでは普段お話できないような他領域で働く先生方とお話ができる大変貴重な機会となりました。

最後になりましたが、貴重なお話をお聞かせくださいました梨谷先生、榎本先生、大下先生、岡村先生、朝比奈先生をはじめ、今回の総会研修会を企画運営いただいた先生方に心より感謝申し上げます。

関西大学心理相談室 下 枝里子

2018年5月27日に開催された関西大学臨床心理士会第12回研修会において、午前中は梨谷竜也先生(馬場記念病院)に「これからの心理臨床家に求められるもの」というテーマでご講演いただきました。少子高齢化からみる心理臨床家の今後のフィールド、他職種から心理職へ期待されていること、新しい取り組み等の心理臨床家の現状と社会問題を絡めたお話から、今後の心理臨床家の在り方について考えさせられました。日頃行っている業務をしっかりとこなすことはもちろん、社会の変化やニーズを察知し、新たなフィールドを見つけることやスキルアップする方法を考え

ていく必要があると感じました。また、私自身、現状として目の前の事例に向き合うことに精いっぱいになっていることに気づき、これからは広い視野を持ちながら業務を行っていきたいと思いました。

午後からは朝比奈裕先生（るんびに学園）、榎本正己先生（ジャパン EAP システムズ）、大下勝先生（大阪府・京都府スクールカウンセラー）、岡村香織先生（藍野花園病院）のシンポジウム「心理臨床における各領域の今とこれからについて」を拝聴させていただきました。前半は各領域の概要や特徴、求められていること等を4人の先生方が説明してくださいました。後半は6人程のグループでディスカッションを行いました。先生方のお話やディスカッションで挙げられた各グループの話から、それぞれの領域特有の難しさがあるだけでなく、秘密保持等、4つの領域全てに通じる難しい点があることも感じることができました。公認心理師法が施行され、益々各領域の理解をしていく必要があると考えられる今、このような機会を持つことができたことを有り難く感じています。

最後になりましたが、貴重なお話をお聞かせくださいました梨谷先生、朝比奈先生、榎本先生、大下先生、岡村先生をはじめ、今回の総会研修会を企画運営いただいた先生方に心より感謝を申し上げます。

第12回総会議事録（抜粋）

日時:2018年5月27日(日)

第1部:11:30~11:50

第2部:13:00~13:05

場所:関西大学尚文館1階マルチメディア

AV大教室

第1部

【審議事項】

下記の第1号議案から第8号議案が諮られ、すべて満場一致で承認された。

第1号議案 2017年度事業報告

1. 2017年1月14日(土)校友会新年互礼会
於 新阪急ホテル
2. 2017年1月31日(火)執行部会
於 関西大学総合研究室棟
3. 2017年2月18日(土)幹事会
於 新関西大学会館南棟4階 チルコロ
4. 2017年2月19日(日)院生主催研修会②
於 関西大学尚文館1階マルチメディア
AV大教室
5. 2017年5月14日(日)第11回総会研修会
於 関西大学尚文館1階マルチメディア
AV大教室(総会および研修会)
新関西大学会館南棟4階 チルコロ
(懇親会)
6. 2017年6月10日(土)第109回定時代議
員会
於 関西大学第2学舎4号館
BIGホール100
7. 2017年6月18日(日)院生主催研修会②
於 関西大学尚文館1階マルチメディア
AV大教室
8. 2017年7月1日(土)平成29年度全国組
織代表者会議
於 関西大学100周年記念会館
9. 2017年10月1日(日)院生主催研修会②
於 関西大学尚文館1階マルチメディア

AV 大教室

10. 2017年10月15日(日)平成29年度関西
大学校友総会

於 関西大学第2学舎4号館

BIG ホール 100

11. 2017年11月1日(水)ニューズレター第11
号発行

12. 2017年11月19日(日)院生主催研修会㉓
於 関西大学尚文館1階マルチメディア

AV 大教室

13. 2017年12月14日(木)研修会担当幹事打
ち合わせ

於 Osteria Covo

第2号議案 2017年度会計決算報告

第3号議案 2017年度決算監査報告

2017年度 会計 決算報告
(2017年1月1日～12月31日) (単位:円)

| 収 入 | | | 支 出 | | |
|-----|-----------|-------------|------|-----------|----------------|
| 項目 | 予算 | 決算額 | 項目 | 予算 | 決算額 |
| 年会費 | 660,000 | 717,000 | 事務局費 | 152,000 | 32,645 |
| | | 正会員 | | | 幹事会各費 |
| | | 2017年度分 | | | 事務用品費 |
| | | ※3,000×188名 | | | 年会費 |
| | | 2018年度分 | 印刷費 | 40,000 | 67,510 |
| | | ※3,000×38名 | | | ニューズレター印刷費 |
| | | 2019年度分 | 通信費 | 60,000 | 34,184 |
| | | ※3,000×5名 | | | 年会費・総会研修会案内郵送料 |
| | | 懇親会参加費 | | | 監事報酬費 |
| | | ※3,000×39名 | | | 翻訳費 |
| 総会 | 150,000 | 99,000 | 総会 | 250,000 | 221,204 |
| | | | | | 講師謝礼 |
| | | | | | 講師交通費 |
| | | | | | 会議費 |
| | | | | | 懇親会費 |
| | | | | | ワーキングショップ費 |
| | | | | | 研修会 |
| | | | | | 230,000 |
| | | | | | 99,023 |
| | | | | | 院生主催研修会 講師謝礼 |
| | | | | | 80,000 |
| | | | | | 院生主催研修会 会務費 |
| | | | | | 18,023 |
| 繰越金 | 729,882 | 1,804,383 | 繰越金 | 712,882 | 2,165,709 |
| | | 前年度からの繰越金 | | | 次年度への繰越金 |
| | | | | | 2,165,709 |
| 繰上 | | | | | |
| | | | | | |
| 合計 | 1,539,882 | 2,820,375 | 合計 | 1,539,882 | 2,820,375 |

2017年度 特別会計 決算報告
(2017年1月1日～12月31日) (単位:円)

| 収 入 | | | 支 出 | | |
|-----|---------|------------|-----|---------|----------|
| 項目 | 予算 | 決算額 | 項目 | 予算 | 決算額 |
| 年会費 | 188,000 | 130,000 | | | |
| | | 正会員 | | | |
| | | 2017年度分 | | | |
| | | ※2,000×52名 | | | |
| | | 2018年度分 | | | |
| | | ※2,000×7名 | | | |
| | | 2019年度分 | | | |
| | | ※2,000×6名 | | | |
| 繰越金 | 280,000 | 268,548 | 繰越金 | 448,000 | 416,548 |
| | | 前年度からの繰越金 | | | 次年度への繰越金 |
| | | | | | |
| 合計 | 448,000 | 418,548 | 合計 | 448,000 | 416,548 |

2017年度の会計について監査いたしましたところ、帳簿、領収書等適正に処理されており、収入・支出・繰越金は決算報告の通り、相違ありません。

2018年3月29日

会計監査

小 崎 宏 之
根 本 由 佳

第4号議案 会費改定に伴う会則改正について

| 新(改正案) | 旧(現行) |
|--|--|
| (会費) 第7条 会費は次の通りとする。 1. 正会員の年会費は2,000円とする。 2. 準会員の年会費は1,000円とする。 3. 正会員の入会金は2,000円とする。 ・入会金は2,000円のままとする。 | (会費) 第7条 会費は次の通りとする。 1. 正会員の年会費は3,000円とする。 2. 準会員の年会費は2,000円とする。 3. 正会員の入会金は2,000円とする。 |

第5号議案 本会名称変更に伴う会則改正について

| 新(改正案) | 旧(現行) |
|---|-------------------------------------|
| (本会の名称) 第1条 本会は「(新名称)」と称する。 ・新名称は以下の3案より、投票により決定する。 | (本会の名称) 第1条 本会は「関西大学臨床心理士会」と称する。 |

| 新(改正案) | 旧(現行) |
|--|---|
| (会員の資格) 第5条 2. 次の資格を有する者を本会の正会員とする。 正会員は関西大学の卒業生または関西大学大学院の修了生で、財団法人日本臨床心理士資格認定協会の認定する「臨床心理士」資格を有するか、あるいは臨床心理専門職に就いている者。 ・取り消し給部を削除する。 | (会員の資格) 第5条 2. 次の資格を有する者を本会の正会員とする。 正会員は関西大学の卒業生または関西大学大学院の修了生で、財団法人日本臨床心理士資格認定協会の認定する「臨床心理士」資格を有するか、あるいは臨床心理専門職に就いている者。 |

下記のいずれかにチェックし、投票箱に入れてください。

関西大学心理臨床研究会

心理臨床関大会

臨床心理関大会

第6号議案 2019年度事業案

- 2019年1月 校友会新年互礼会
- 2019年1月 執行部会
- 2019年2月 幹事会
- 2019年3月 校友会 定時代議員会
- 2019年5月 第13回総会研修会
- 2019年6月 校友会 定時代議員会
- 2019年10月 2019年度校友総会
- 2019年11月 ニューズレター第13号発行
- 2019年12月 研修会担当幹事打ち合わせ
- 院生主催研修会

第7号議案 2019年度予算案

2019年度 一般会計 予算案
(2019年1月1日～12月31日) (単位:円)

| 収入 | | | 支出 | | |
|-------|-----------|--|-------|-----------|---|
| 項目 | 予算案 | 備考 | 項目 | 予算案 | 備考 |
| 年会費 | 540,000 | 平成31年度分 正会員 ①2,000×270名 540,000 | 事務総費 | 100,000 | 幹事会会費 30,000 事務用品費 20,000 パソコン関連費 20,000 事務管理費 30,000 |
| | | | 印刷費 | 60,000 | 印刷費 60,000 |
| | | | 通信費 | 30,000 | 郵送費 30,000 |
| 総会研修会 | 90,000 | 懇親会参加費 ①3,000×30 90,000 | 総会研修会 | 205,000 | 贈答謝礼 100,000 資料印刷費 10,000 ワーキングショップ申請料 5,000 懇親会費 90,000 |
| 研修会 | | | 研修会 | 200,000 | 院生主催研修会補助費 200,000 |
| 繰越金 | 2,000,000 | 前年度からの繰越金 | 繰越金 | 2,035,000 | 次年度への繰越金 |
| 合計 | 2,630,000 | | 合計 | 2,630,000 | |

2019年度 特別会計 予算案
(2019年1月1日～12月31日) (単位:円)

| 収入 | | | 支出 | | |
|-----|---------|-----------------------------|------------|---------|----------|
| 項目 | 予算案 | 備考 | 項目 | 予算案 | 備考 |
| 年会費 | 90,000 | 専任員 ①1,000×90名 90,000 | ホームページ関連費用 | 100,000 | |
| 繰越金 | 550,000 | 前年度からの繰越金 | 繰越金 | 540,000 | 次年度への繰越金 |
| 合計 | 640,000 | | 合計 | 640,000 | |

第8号議案 その他

審議事項なし

第2部

【審議事項】

下記の第1号議案が諮られ、満場一致で承認された。

第1号議案 本会新名称の承認

本会の新名称は、投票により関西大学心理臨床研究会に決定した。投票結果は以下の通りである。

関西大学心理臨床研究会 56 票

心理臨床関大会 5 票

臨床心理関大会 5 票

以上

職 場 紹 介

清恵会病院 小津寛子

清恵会病院は堺市北部に位置する急性期の総合病院で、病床数は336床です。2015年10月に市立堺病院の跡地に移転し、診療科の拡大や再開など改変を進めてきました。救急医療を基軸としていますが、内科や整形外科の専門医療センターも多く、患者様をトータルにサポートすることを目指した診療を行っています。

当院での心理士の主な業務は、身体科治療における心理的負担の軽減です。疾患や受傷に起因する問題や長期の療養に伴うストレスから、こころに不調をきたす患者様もおられ、心理アセスメントや心理面接を行っています。精神科病床はありませんが、精神疾患のある患者様の身体科治療のサポートも行います。

当院の臨床心理室は常勤1名体制のため量的な制約はありますが、スケジュールを工夫しながら調整し、ニーズに応えられるよう努めています。総合病院の特性上、携わる診療科は幅広くニーズも多岐にわたりますが、心理士単独での対応が困難な場合も各病棟に専従の他職種が配置されており、スタッフ同士の相談しやすい環境に助けられています。

最近ではチームの一員として活動する機会も増え、糖尿病チームと緩和ケアチームに参加しています。糖尿病チームでは、教育入院や外来での継続支援のほかに、「めぐみ会」という患者会の運営も行っており、年に1度のバス旅行やクリスマスパーティーなどを企画しています。企画を通して患者様と顔見知りの関係を築くことができ、

治療的側面からも有意義な取り組みと自負しています。また緩和ケアチームは、これまで個別で連携していた介入を系統立てて行うために昨年発足させた新しいチームで、疼痛の管理や精神面のサポートに心理士も協力しています。

迅速さの求められる急性期病院ですが、束の間でもほっとしていただけるよう「こころのケア担当」として、これからも患者様の生活に寄り添った“やさしい医療”を目指して努力していきたいと思えます。



事務局からのお知らせ

(1) ご報告

2018年5月27日(日)に開催いたしました第12回総会研修会は、2018年7月2日付で(公財)日本臨床心理士資格認定協会の短期型研修会(ワークショップ)として承認されました。

(2) 登録情報変更について

事務局に電子メール(PC)のアドレスをご登録いただいていない方、アドレスの変更をお知らせいただいていない方は、事務局(kucpas@yahoo.co.jp)までお知らせください。また、併せて、氏名や住所、所属先など、本会にご登録いただいている情報に変更のある場合も、

お手数ですが事務局までメールでお知らせいただきますよう、お願いいたします。

なお、フリーメール（特に Hotmail や MNS）をご利用の場合、返信が届かないケースが報告されております。事務局からの返信がない場合は迷惑メール防止機能の受信許可設定を見直していただくか、その他のメールアドレスから再度ご連絡をいただけますよう、よろしくをお願いいたします。

(3) 会費納入のお願い

2018 年度会費を未納の方は、年会費（正会員：3000 円、準会員：2000 円）を下記のゆうちょ口座にお振り込みください。なお、領収書は発行しませんので、振り込み用紙をもって領収書にかえさせていただきます。年会費の振り込み状況などに関しては事務局 (kucpas@yahoo.co.jp) にお問い合わせください。

口座名称：関西大学臨床心理士会

口座番号：00900-5-169501

※新年度より新名称の口座名称となります。

(4) その他

本会に対する皆様からの情報やご意見などを事務局 (kucpas@yahoo.co.jp) までお寄せください。原稿は紙面の都合上 2,000 字以内でお願いいたします。ご投稿いただきました原稿は、幹事会での掲載承認後、編集部で編集の上、掲載とさせていただきますのであらかじめご了承ください。

第 13 回総会研修会のお知らせ

第 13 回総会研修会は来年 5 月に開催する予定です。日程などの詳細が決まりましたら、改めてお知らせいたします。多数の先生方のご参加をお待ちしております。

編集後記

第 12 回総会研修会は、「これからの心理臨床家」をキーワードに基調講演およびシンポジウムが催され、有意義な 1 日を過ごすことができました。

来年度より公認心理師が本格的に活動を開始することもあり、本会も関西大学心理臨床研究会へと名称変更することとなりました。これまで同様、新たな知見を得る研修の場としてだけでなく、同期や先輩、後輩と旧交を深めたり、心理臨床家を目指した当時の思いに立ち返るといった、貴重な機会を引き続き提供できればと思います。

本会は設立から 12 年目で会員数は準会員も含めて 400 名を超えました。これからも、会員相互に研鑽をはかるとともに、本ニュースレターが関西大学の仲間とのつながりを再確認する機会となれば幸いです。

首藤 賢（湖南クリニック・藍野病院）

関西大学心理臨床研究会ニュースレター第 12 号

2018 年 11 月 1 日発行

発行者：関西大学心理臨床研究会

事務局所在地：〒564-8680

大阪府吹田市山手町 3-3-35

関西大学総合研究室棟

岡田研究室気付

編集責任：岡田弘司 香川 香 首藤 賢 若林暁子